

# 種雄牛「勝幸久号」「幸千風号」 供用開始のお知らせ

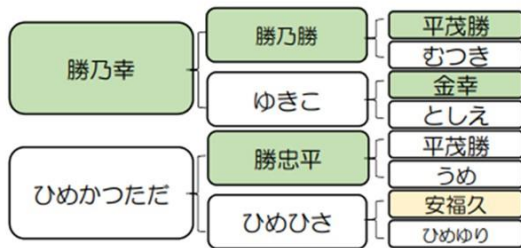
大分県農林水産研究指導センター畜産研究部

令和5年10月1日から、種雄牛「勝幸久号」「幸千風号」の精液供用を開始しました。「勝幸久号」「幸千風号」は長崎県の高能力種雄牛「勝乃幸号」から造成された候補種雄牛です。

## 1 「勝幸久号」

令和3年11月9日生まれ。生産者は中津市耶馬溪町の久保秀記氏です。枝肉重量の増加と歩留まり基準値の改善を目的に「勝乃幸号」と「ひめかつただ号」を交配して造成しました。ゲノム育種価は県研究部で飼養する種雄牛38頭中BMS5位、オレイン酸4位、MUFA9位と良好です。

## 勝幸久



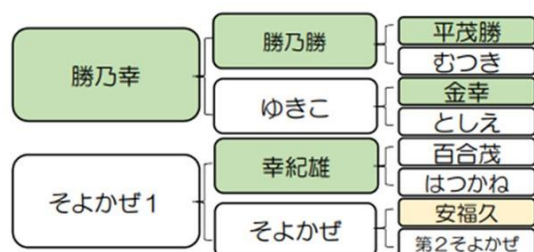
【本牛ゲノム育種価】 県研究部で飼養する種雄牛38頭中の順位

	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留	BMS	オレイン酸	MUFA
ゲノム育種価	15	11	24	18	17	5	4	9

## 2 「幸千風号」

令和3年12月26日生まれ。生産者は竹田市久住町の大久保省治氏です。オレイン酸生成能力の改良を「勝乃幸号」と「そよかぜ1号」を交配して造成しました。ゲノム育種価では、「オレイン酸・MUFA」で県有種雄牛中1位です。

### 幸千風



【本牛ゲノム育種価】 県研究部で飼養する種雄牛38頭中の順位

	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留	BMS	オレイン酸	MUFA
ゲノム育種価	24	19	16	5	6	13	1	1

## 3 現場後代検定

「勝幸久号」及び「幸千風号」は、令和5年度後期に現場後代検定材料牛取得のために令和5年11月15日～令和6年1月31日を授精期間として各地区改良組合の皆様にご協力をいただきます。初産雌を避け、藤良系および但馬系への交配を推奨します。

なお、現場後代検定終了予定は令和9年度前期の予定です。